

令和5年度事業計画

I 事業実施方針

国内の畜産業は、令和2年来の新型コロナウイルスの影響による畜産物の消費停滞、ロシアのウクライナ侵攻による穀物価格や海上運賃の高騰、そして引き続き円安の影響等、個々の生産者の手の及ばない極めて厳しい状況にある。

このため、政府においても、令和4年9月にはコロナ予備や飼料料価格高騰緊急対策や乳価海底までの間のコスト上昇分を補てんする緊急対策を実施し、11月には令和4年度補正予算による酪農経営改善緊急支援事業や配合飼料価格高騰緊急対策の実施を決定した。令和4年度から実施された肉用子牛の価格低落に対応した優良肉用子牛生産推進事業は実施期間が延長された。令和5年度の畜産物価格は、加工原料乳生産者補給金や肉用子牛の保証基準価格等が引き上げられ、これらを補完する緊急対策も措置されたところである。

日本家畜商協会は、令和5年度においても地域を支える基幹産業としての肉用牛経営の更なる活性化に取り組むとともに、組合間の緊密な連携を図ることにより、肉用牛の生産及び流通の合理化に貢献する。

具体的には、家畜商組合が肉用牛預託事業を行う際に必要な借入資金の債務保証事業、肉用牛等の担保管理事業、家畜市場の環境整備推進等のための助成事業、家畜商の営業保証金供託代行事業を進めるとともに協会が行う肉用牛預託事業に会員組合の組合員がより参加しやすい仕組みの構築等により事業の拡大を図る。家畜の取引に関する調査研究並びに普及啓発事業においては、令和5年10月から始まる消費税のインボイス制度への対応についての普及啓発と家畜商データベースへの参加の推進を図る。更に、地域活性化対策として、会員に対する表彰事業及び組織活性化対策事業等に取り組んでいく。

II 事業の概要

1 公益目的実施事業

(1) 債務保証事業、肉用牛担保管理事業等

家畜商組合が実施する肉用牛流通促進対策事業の実施に必要な資金借入の円滑化を図るための債務保証事業や肉用牛担保管理事業、乳用牛担保管理事業及び債務保証対象牛の在庫確認業務を5年度も実施する。また、協会肉用牛預託事業についても更に参加しやすい仕組みを構築して実施する。

(2) 家畜市場環境整備推進等助成事業（協会公募事業）

家畜商組合等が家畜市場の設備等の整備、防疫対策の強化を図るための取組及び家畜商組合が肉用子牛の導入資金を金融機関から円滑に借り入れるための取組に対して助成する。

(3) 家畜商の営業保証金供託代行事業

家畜商法における営業保証金の供託及び取戻しの代行事業を行う。

(4) 家畜の取引に関する調査研究、普及啓発事業等（農畜産業振興機構公募事業）

肉用牛経営安定対策補完事業中、①肉用牛導入支援事業（預託牛導入の拡大に向けた運用体制の構築、健全な家畜取引推進のための啓発普及）、②肉用牛流通促進対策事業及び③肉用牛流通多様化推進事業を、関係機関及び学識経験者等の指導・協力を得て行う。

2 表彰等地域活性化対策事業

(1) 会員組織の活性化事業等

会員組織の活性化として以下の事業等を行う。

①全国優良家畜商の表彰

②家畜商団体ブロック別協議会に対する参加交流と地域組織活動功労者の表彰

③会員団体等が行う地域畜産共進会に対する支援と表彰

④会員が組織運営の活性化に資するために行う諸活動に対する助成

(2) 中央団体、関係機関との連携強化

中央団体、関係機関との連携を密にして、畜産業に関する情報の収集、提供を行う。

収支予算(案)は別紙の通り